

龜田篤谷 ちづたつ 舊關宿藩儒。文化四年五月二日下總國八千代村生れ、

明治十四年八月一日歿（一八七二）。舊姓鈴木、諱長保、字申之・任天、通稱保次（二）郎、慶彦、毅、保。號梧々堂、學孔堂等。龜田綾瀬の師事し、乃ちその養嗣子となる。藩黨教倫館の學範。曾、土攘表を唱へ、維新時藩内紛糾の際進坐して下獄一年。深川に住し、本所横川に移りて歿す。

著書に『古事記序解』（中島慶太郎筆記、明治九年九月大綱克刊）、

『五魂説』（明治十四年八月龜田英編次出版、一一三社上刷）、『學

孔堂遺文』全二冊（明治十六年七月龜田英編刊）等。